



6月3日、林業体験の日です。
5月に行われる予定でしたが、雨天延期。
雨になりませんようにと願いつつ、待ちに待った行事
です。



午前中は作業です。
今年は、除伐作業。
檜を育てるため、檜の周囲に生えてきた広葉樹などを
伐採する作業です。



鋸の刃の入れ方のコツや、林地を守るために除伐しな
い方がいい場所などを教わりながら作業を進め、大変
勉強になりました。



除伐。
さまざまな方向に伸びる生木を切るのは、訓練で使う
乾燥材とは違い一苦労。



密集しているところは倒すのが大変でしたね。
だんだんと慣れ、除伐すべき木も見分けがつくようになり、1時間半程で作業を終えました。



お昼休憩は、川原が人気。
のびのびと過ごせたようです。



午後には、木曾森林管理署職員の方の案内のもと、要所所で説明を聞きながら、普段立ち入ることのできない奥千本まで歩きます。



目の前の光景や、アイテムを交えながらお話して下さるので、分かりやすく、とても理解が深まります。



「見上げていると首が痛くなる」と訓練生。
立派な檜と、雄大な森林でした。



森林管理署の職員の皆様、1日お世話になりました。
貴重な体験をありがとうございました。



一度は延期になった林業体験でしたが、無事に全予定
を終えることができました。
訓練生の皆さんお疲れさまでした。